

学術集会名: 第 45 回日本臨床運動療法学会学術集会

大会長: 木庭 新治(昭和医科大学医学部 内科学講座 循環器内科学部門)

【プログラム】

セッション名: 実技2

セッション開催日時: 2026 年 9 月 6 日(日) 9:00～12:05

開催会場: 昭和医科大学 上條記念館 B1F 富士桜 A

【演題1】

高齢患者や心疾患患者に対するレジスタンストレーニングの実践

【講師】

高橋哲也(順天堂大学 保健医療学部理学療法学科)

【要旨】

本講演では、高齢患者や心疾患患者に対するレジスタンストレーニングの基本理論を解説し、高齢者や心疾患患者に対するレジスタンストレーニングの意義、最新のガイドラインに基づく安全で効果的なレジスタンストレーニングの原則(生理学的根拠、禁忌、頻度・強度・時間・種類)について解説し、レジスタンストレーニングの処方と実践を学ぶ。

【演題2】

心肺運動負荷試験の理論と実践 -JHC 共催 CPX Live demonstration 2-

【講師】

・伊東 秀崇(虎の門病院 循環器内科)

・前田 知子(榊原記念病院附属クリニック 検査科)

【要旨】

心肺運動負荷試験は一言で言えば運動負荷心電図に連続呼気ガス分析を併用した負荷試験である。

その特徴は単に虚血や不整脈の誘発にとどまらず、運動中のエネルギー代謝の変化や血行動態、さらに換気や外呼吸の推移を観察することができる。その結果、被検者の運動制限因子や各臓器機能ならびに調節系の機能を診断することができる。近年心臓リハビリテーションの適応が、心不全や経皮的太動脈弁置換術 TAVI 術後などに適応が拡大された。今後、心不全患者や術後患者に対しての CPX を行う機会がますます増えることが予想される。今回、実際の心肺運動負荷試験を通じて、酸素摂取量を始め、各種呼気ガス指標について解説する。

【問い合わせ先】

第 45 回日本臨床運動療法学会学術集会 運営事務局

担当: 高嶋 桜子(たかしま さくらこ)

TEL: 03-5229-6888(代表) E-mail: jaetp2026@visionbridge.jp